

MailArchiva パブリックイメージ for NIFTYCloud

初期設定マニュアル

メールアーカイブのための基本設定マニュアル

第 1.0 版 2011 年 8 月 22 日
有限会社ディアイピー

目次

1.	はじめに	2
2.	事前準備	3
3.	MailArchiva 基本設定	4
3.1.	管理画面へのログイン	4
3.2.	ドメイン設定	4
3.3.	ボリューム設定	5
3.4.	ログイン設定	6
3.5.	ジャーナルアカウント設定	7
3.6.	一般設定	8
4.	DIP ご提供のサービス	9
5.	DIP お問い合わせ先・有償版価格表	9

1. はじめに

本書では、MailArchiva パブリックイメージの初期設定について記述いたします。

ジャーナルアカウント方式によるメール取り込み連携に関して、記述しています。本書でのジャーナルアカウントとは、アーカイブ対象とする全ての送受信メールのコピーを転送したメールアカウントのことを指し示しています。

ジャーナルアカウントのためのメールサーバ (MTA) の設定は、メールサーバ管理者にお問合せ頂くか、DIP へ MailArchiva MTA インテグレーションサービスのご依頼を下さい。

MailArchiva では、MTA と直接連携を行うことも可能ですが、メールサーバ環境により対応状況が異なるため、本書では、対象と致しません。特殊な環境下におけるご利用ご要望は、DIP へ MailArchiva MTA インテグレーションサービスのご依頼を下さい。

2. 事前準備

MailArchiva パブリックイメージ for NIFTY Cloud の利用にあたり、予め NIFTY Cloud 上で、ファイアウォールの設定を行う必要があります。

下記手順に添って、必要な IP アドレスから MailArchiva パブリックイメージ対象サーバの「8090」ポートに接続許可を行って下さい。

ニフティクラウドコントロールパネル上から、ファイアウォールメニューを選択し、default(Linux) または、作成したファイアウォールグループを選択し、「ルール設定を変更する」ボタンを押下します。



図 1. ファイアウォール設定

図 1. の様な画面が表示されますので、プロトコルを「TCP」とし、宛先ポートを「8090」として、IP アドレス・グループに社内やアクセス元となるアドレスを入力し、「追加」ボタンを押下します。

以上で、事前準備は完了です。以降は MailArchiva 管理画面より設定を行います。

3. MailArchiva 基本設定

3.1. 管理画面へのログイン

下記より管理画面にアクセスし、ログインを行います。

`http://【対象サーバの IP アドレス】:8090//mailarchiva/`

管理者ユーザー「admin」でログインします。初回のパスワードは、「admin」です。



ログインすると、まず検索画面が表示されますので、上部メニューから「設定」を押下してください。

3.2. ドメイン設定

まず、「ドメイン」タブを選択し、「新しいドメイン」ボタンを押下します。利用するドメイン名を入力します。



3.3. ボリューム設定

続いて、「ボリューム」タブを選択し、「新しいボリューム」ボタンを押下します。ボリュームは、検索用のインデックスとメールを保存するアーカイブから構成されます。サイズとパスを確認してください。サイズ既定値が 30000MB となっていますが、利用可能なディスクサイズに合わせ、20000MB 以下の値をご入力下さい。また、MailArchiva では、サーバーファイルシステム上に DES で暗号化されたファイルとしてメールを保存するため、暗号化用のパスワードを「Email 暗号化パスワード」と「パスワード (再入力)」に入力します。

※注意 「Email 暗号化パスワード」は、変更することができませんので、慎重に設定して下さい。



The screenshot shows the MailArchiva Open Source Edition web interface. The top navigation bar includes '設定' (Settings), '検索' (Search), and 'ログアウト' (Logout). The main navigation menu has 'ボリューム' (Volumes) selected. The form contains the following fields:

- Email 暗号化パスワード: [password field] (パスワードの強度は 普通)
- パスワード (再入力): [password field]
- 新しいボリューム: [新しいボリューム button]

ボリューム	ステータス	作成	閉じる	アーカイブストアのパス	最大サイズ(MB)	空き	メール数	インデックスのPath	空き	動作
0	NEW			/var/store/store0	20000		0	/var/index/index0		削除

At the bottom of the form are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The footer text reads: 'MailArchiva オープンソースエディション (c) 2005-2008 Jamie Band'.

3.4. ログイン設定

「ログイン」タブを選択し、管理者 (admin) マスターパスワードを設定します。必ず設定する必要がありますので、「管理者 (admin) マスターパスワード」と「パスワード (再入力)」を入力します。



The screenshot shows the MailArchiva administration interface. At the top, there is a header with the MailArchiva logo and "Open Source Edition". Below the header, there is a navigation menu with tabs for "設定" (Settings), "検索" (Search), and "ログアウト" (Logout). The "設定" tab is selected, and a sub-menu is visible with tabs for "ドメイン" (Domain), "ボリューム" (Volume), "ログイン" (Login), "ジャーナルアカウント" (Journal Account), "アーカイブルール" (Archive Rules), "待ち受けポート" (Listen Port), "一般" (General), "ログ" (Log), and "About". The "ログイン" tab is selected. The main content area contains the following fields and options:

- 管理者 (admin) マスター パスワード: [Text Input] パスワード (再入力): [Text Input]
(既定のパスワードのままです。変更してください!)
- デフォルトログインドメイン: [Text Input] (例 company.com)
- コンソールログイン方法: [Basic] (Dropdown Menu)
- ロールのユーザーへの割り当て: [新しいロールの割り当て] (Button)

At the bottom of the form, there are two buttons: "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel). The footer of the page reads "MailArchiva オープンソースプロジェクト (c) 2005-2008 Jamie Band".

3.2. から 3.4. の入力が出来ましたら、一旦設定情報を保存するため、画面最下部の「保存」ボタンを押下します。

3.5. ジャーナルアカウント設定

ジャーナルアカウントとは、アーカイブ対象とする全ての送受信メールのコピーを転送するメールアカウントを指し示します。本項では、メールの取り込み元となるジャーナルアカウント接続情報を設定します。「ジャーナルアカウント」タブ内にて、プロトコル、サーバー、ポート、ユーザー名、パスワード、接続モードを入力し、最後に「ジャーナルアカウント接続のテスト」を押下します。別ウィンドウ内にて、テストステータスが表示され、「test complete.」と表示されることで設定が正常であることが確認できます。エラー表示などがある場合には、入力値を見直してください。最後に「有効」にチェックをいれ、一旦設定情報を保存するため、画面最下部の「保存」ボタンを押下します。

※注意 「保存」ボタンを押下するとメールの取り込みが開始されます。
注意して「保存」ボタンを押下してください。

The screenshot shows the 'mailArchiva Open Source Edition' interface. The '設定' (Settings) menu is open, and the 'ジャーナルアカウント' (Journal Account) tab is selected. The configuration fields are as follows:

- ポーリング待ち間隔 (秒): 2
- 処理する最大メッセージ数: 50 (ポーリング時)
- 接続: 有効
- プロトコル: IMAP
- サーバー: mail.example.com
- ポート: 143, SSLポート: 993
- ユーザー名: journal
- パスワード: [masked]
- 接続モード: 利用可能な場合TLS
- IMAPでのメッセージ取得処理中に、未読メッセージのみを処理する(有効を推奨)
- メッセージ受信の通知をサーバーから受け取る(IMAP Idle)
- アクション: ジャーナルアカウント接続のテスト

Buttons at the bottom: 保存 (Save), キャンセル (Cancel). Footer: MailArchiva オープンソースエディション (c) 2005-2008 Jamie Band

3.6. 一般設定

「一般」タブを選択し、インデックス設定内の「メールインデキシングにのデフォルトの言語」にて「日本語」を選択し、画面最下部の「保存」ボタンを押下します。

The screenshot shows the 'Settings' page for MailArchiva Open Source Edition. The 'General' tab is selected. Under 'Indexing Settings', the 'Default language for email indexing' is set to '日本語' (Japanese). Other settings include 'Maximum message size to archive' at 150 MB, 'Maximum number of archive threads' at 6, and 'Maximum number of messages to restore' at 10,000.

以上で、初期設定は完了です。メールがアーカイブされているか、テストメールの送受信などを行った上で、検索画面にて検索キーワードを未入力のまま「検索」ボタンを押下し、検索結果が表示されるか確認してください。

The screenshot shows the search page with the following search criteria: '件名' (Subject), '全て' (All), '11/06/06 1:00' (From), and '11/08/06 23:59' (To). The search results are empty, and a message states: '検索条件に一致するEmailは見つかりませんでした' (No emails were found matching the search criteria). A 'ポイント' (Points) section provides tips for searching.

4. DIP ご提供のサービス

下記は、MailArchiva パブリックイメージ for NiftyCloud 専用サービスです。
個別のシステムインテグレーションは、お問合せフォームよりご依頼ください。

No.	サービス名	期間・数量	金額
1	MailArchiva パブリックイメージサポート	年間	¥120,000-
2	MTA インテグレーションサービス	1	¥50,000 ~ (要御見積)
3	MailArchiva Enterprise Edition		ユーザー数ライセンス

※ 1.MailArchiva パブリックイメージサポートは、標準のパブリックイメージに対してメールによる操作、障害時一次切りわけを支援するためのサポートサービスとなっております。MTA などにお客様独自のインテグレーションを実施されている場合や、ディスク追加オプションなどを利用されている場合は、別途御見積が必要となりますので、詳しくは弊社お問合せフォームよりお問合せください。

5. DIP お問合せ先・有償版価格表

	URL
MailArchiva 専用サイト	http://www.d-ip.jp/ma/index.html
Enterprise Edition 価格表	http://www.d-ip.jp/ma/price.html
お問合わせフォーム	http://www.d-ip.jp/ma/inquiry.html